

☆ 生育状況は、現状平年並みの状況です。

今後、秋姫の収穫期を迎えますが、地色の抜け具合・食味を確認し、収穫をすすめて下さい。

☆ 本年も、秋姫などの品種で「黒斑病」や「かいよう病」の発生が園地によって多い状況です。

収穫後のボルドー散布を実施し、菌密度の抑制に努めて下さい。

ボルドー散布前に徒長枝を整理し、薬剤がかかりやすい状態での散布を実施して下さい。

1. プラム、プルーン **収穫終了後** の散布

- 隣接園（特に、今後収穫期を迎える作物）に飛散しないよう十分注意する。
- 散布後は、タンク内や散布器具の洗浄を十分に行ない、薬液が残らないようにする。

散布時期	・9月上旬～（収穫終了後）		
散布薬剤	水 100ℓ当り		【定期散布】散布日 ____月 ____日(____) 散布量 _____ℓ
	アピオンE（展着剤） 50mℓ		
	ICボルドー412 3.3kg		
散布量	400ℓ / 10a		
注意事項	①「汚れ注意」周辺の作物へ飛散しないようにする ②黒斑病、かいよう病多発園は、ボルドー散布を14日以内の間隔で、2～3回実施する。		

●スモモヒメシンクイ フェロモントラップ調査について（8/28時点） 調査：北信農業農村支援センター

年	一本木		倭	
2024年	R6	R5	R6	R5
6月26日	14	33	27	37
7月3日	28	46	48	43
7月10日	34	52	57	38
7月17日	15	38	27	27
7月24日	8	30	20	19
7月31日	28	65	46	59
8月7日	17	49	36	70
8月14日	7	27	22	123
8月21日	14	10	38	30
8月28日	17	20	20	36

3. 収穫後の施肥・・・天然ボカシ肥 4～5袋（10a当たり）

問合せ先：園芸課・担当 横田（080-5147-8257）